

防犯指導員 決意新たにスタート

日吉地区

支部長 川島 修 (二又)

副支部長 中川 満 (新井)

南条地区

支部長 日色 功 (富下)

副支部長 斉藤 悦一 (母下)

東陽地区

支部長 水須 久 (橋場)

副支部長 藤井 昇 (作間内)

白浜地区

支部長 伊藤 英男 (尾垂区)

副支部長 平山 雅己 (長塚)

四月十三日、町民会館ホールで昭和六十年度光町防犯協会の総会が行われ、新しく各区から推薦された五十五名の方が指導員として委嘱されました。委嘱状を手にした指導員はやるきまんまん、「犯罪のない明るく住みよい町づくりがんばります」と、決意新たにスタートしました。

役員は次のとおりです。
(順不同・敬称略)
会長 小川 良一 (長塚)

優勝は白浜Aチーム スティックさばきも鮮やかに

ゲートボール

四月四日・五日の両日、第二回社会福祉協議会会長杯争奪戦

ゲートボール大会が、町営ゲートボール場で行われました。今大会の参加チームは二十

チーム。各地区から集まったお年寄りたちは、スティックさばきも鮮やかに日頃の腕前を競い合いました。

結果は次のとおりです。

- 優勝 白浜Aチーム
- 準優勝 白浜Bチーム
- 三位 東陽Bチーム

優勝の白浜A チーム表彰式で

充実した人生を送るために 生涯学習の時代

学習意欲の基礎は：家庭環境から

人はだれでも生涯にわたり、家庭や学校や社会といった場でのいろいろなことを体験し、そこから多くのことを学びながら成長していきます。人格の形成に

性格の形成などに重要な意味をもっていることも明らかになっています。「三つ子の魂百まで」が、科学的に裏づけられたというわけです。

らない課題があります。それは、身体の発育、運動機能、知識、情緒などのさまざまな側面がありすが、人間性豊かな人格を形成するためには、次のような点に配慮することが重要だといわれています。

どのような学習をするかが、きわめて大事なことは言うまでもありません。ですから、家庭、学校、社会のそれぞれの場が、人間性豊かな人格形成にふさわしい環境となることこそ、生涯学習の基本と言えます。

このように考えてみると、家庭教育は、乳幼児の時期からおざなりにできないことが分かります。子どもが人間性豊かな人格の持ち主となり、生涯にわたって学習しようとする意欲を持ち続けるかどうか——これは、「家庭教育」のあり方によるところが大きいのです。

乳児期には、親や周囲の人々に対する信頼感を持つこと。幼児期には自立心を身につけること。少年期には活動性や自発性を発揮すること。青年期には、自分の態度や行動に一貫性を保てるように自己の確立を目指すこと。

最近、家庭教育の大切さが再認識されています。かつて、生まれたばかりの赤ちゃんは目も見えなければ耳も聞こえないと言われていました。しかし、今では医学や心理学の研究がたいへん進み、人間は胎児の時から視力も聴力も働いていることが証明されています。また、乳幼児の時期の育ち方や体験が、その後の身体の発達や

人間には、子どもから大人へと成長していくそれぞれの時期に、身につけておかなければなら



人間性豊かな人格形成を

人間には、子どもから大人へと成長していくそれぞれの時期に、身につけておかなければなら

子供が、このような課題を達成するためには、親がそれにふさわしい環境を作ってやること